

新コミュニティへの挑戦

自治振興会のサポートと身近な窓口として ～（仮称）地域コミュニティセンター～

（仮称）自治振興会設立に向け各地域で準備委員会による検討が進んでおり、1月末時点では市内19の地域で準備会組織が立ち上がる予定で、それぞれの会議で活発な議論が重ねられています。

「新しいコミュニティ」は（仮称）自治振興会と（仮称）地域コミュニティセンターが中心となります。今回は、（仮称）地域コミュニティセンターの役割についてご説明します。

自治振興会活動の支援と 市民サービスの向上

～（仮称）地域コミュニティセンターの役割～

（仮称）自治振興会設立にあわせ、市が設置する（仮称）地域コミュニティセンターは、活動の拠点となる施設です。

同センターには、2名の職員を配置、（仮称）自治振興会の支援業務を中心に公民館事業の窓口業務を行うほか、住民票などの証明書発行業務を行います。

さらに配置する職員は、それぞれの地域担当となることからこれまで以上にきめ細かな市民サービスを提供させていただけることとなります。

特に本庁や支所よりも身近なところに市行政の窓口を設けることで、スピード感のある対応も可能となり、地域密着型の行政システムを確立させていこうと考えています。

従来の支所機能は比較的大きな コミュニティセンターに設置

現在の支所という名称はなくなりますが、決して支所業務を廃止するわけではありません。支所機能は比較的大きなコミュニティセンターに配置し、これまでとおり旧町地域を管轄する業務を行います。

さらに、支所だけ行っていた旧町地域の管轄業務を、学区単位に設置する地域コミュニティセンター配置の職員2名も対応することで、緊急対応がスピーディに行えるようにするものです。

万が一、学区内で災害などが発生した場合、地域コミュニティセンターの職員が駆けつけ、現場確認などを行います。その状況を本庁や支所機能を有する比較的大きなコミュニティセンターに連絡を行い、初期対応することになります。

（仮称）地域コミュニティセンターは自治振興会のサポートと皆様の窓口として設置します。

今後も、皆様の最も身近な機関として機能が発揮できるよう検討を重ねてまいります。

問い合わせ
地域コミュニティ推進室
☎65-0687 ☎63-4554

ご利用ください

毎週火曜日の延長窓口



市では、利用いただきやすい市役所をめざし、毎週火曜日に市民課および各支所で、戸籍・住民票関係、税関係などの証明書交付事務を夜7時まで延長しています。

本庁・支所に設置の自動交付機で、住民票や印鑑証明書の夜間発行は可能ですが、延長窓口では、職員が対応し、他の証明書も発行できます。

また、自動交付機が利用できる「市民カード」をお作りいただける印鑑登録や、旧町の印鑑登録カードから市民カードへの交換もできます。昼間市役所に来られることが困難な方、ぜひご利用ください。

取扱業務

- 各種証明書等の発行業務
- ・住民票（広域交付除く）
- ・住民票記載事項証明書
- ・外国人登録原簿記載事項証明書
- ・戸籍謄（抄）本・附票

- ・課税（非課税）証明・所得証明
- ・固定資産税評価・公課証明など（納税証明は取り扱えません。）
- 印鑑登録業務
- ・印鑑登録証明書の発行（印鑑登録証または市民カードを必ずお持ちください。）
- ・印鑑登録（市民カードの交付）
- ・旧町の印鑑登録証から市民カードへの交換（代理の場合は所定の委任状が必要です）

※内容によって取り扱えないものもあります。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ
市民課 戸籍住民係
☎65-0683
☎65-6338

大人としての一歩、決意新たに ～甲賀市成人式～

大人への仲間入りを祝う成人式を1月9日、あいこが市民ホールで開催しました。

今年、市内では1,064名の方が成人を迎えました。この日会場には、約700名の皆さんが集まり、旧友を見つけては談笑したり写真を撮ったりしながら、再会の喜びをかみしめていました。

式典では、中嶋市長から新成人の皆さんにお祝いと激励の言葉が贈られ、また新成人を代表して、北中千絵さん（信楽町）と小前菜緒美さん（水口町）から新たな決意と感謝の気持ちが伝えられました。

式典後は、記念イベント「新成人のつどい」で各中学

校別に分かれて競うクイズ大会が行われました。中学生当時や地域に関する出題などに頭を悩ませ珍解答も続出、晴れの門出を楽しく過ごしました。

この日、大人としての第一歩を踏み出した新成人の皆さん。希望とやる気に満ちあふれた皆さんのこれからの飛躍が期待されます。



中嶋市長に誓いの言葉を述べる北中さん（左）と小前さん



会場に集う新成人の皆さん



クイズ大会で盛り上がるステージ

未来に残す水の文化 「近江水の宝」に齋王群行

琵琶湖と密接にかかわる貴重な水文化を残そうと県が選定する「近江水の宝」に今年度、齋王群行が選定されました。近江水の宝は、県全体で64件あり、市内では信楽焼、横田の渡し、杣川の水運、矢川神社・矢川津に続き4件目の選定になります。

齋王群行は、平安時代、占いによって選出された皇女や女王に数百人の人たちが付添い伊勢の齋宮御所へ赴いたもので、野洲川などの清涼な水で禊ぎを行ってと伝えられています。土山町には、齋王が宿泊された垂水頓宮跡があり、この地にちなみ群行を再現する「あいの土山齋王群行」が毎年3月に行われていきます。



「近江水の宝」に選定されたあいの土山齋王群行